

Vol. 5 R5.5.27 『県民カレッジ講演会』 常願寺川と砂防の歴史について学ぶ！



5月27日（土）に、富山県民生涯学習カレッジ富山地区センターで講座『とやまを知る－自然災害と常願寺川－』が開催されました。本講座は、常願寺川の自然災害の歴史を学ぶとともに、洪水被害に苦しんできた越中富山の人々が治水や砂防に取り組んできた歩みを学ぶ講座です。

第1回となる今回は、立山砂防事務所職員が講師を務め『常願寺川と砂防』というテーマで講演を行いました。

講座名：つながる学びわくわく講座

くつながるふるさと学びコース（地区単独型）>

『とやまを知る－自然災害と常願寺川－』

日時：令和5年5月27日（土） 13:30～15:30

場所：富山県民生涯学習カレッジ富山地区センター学習室

主催：富山県民生涯学習カレッジ富山地区センター

講演目次

1. 土砂災害とは
～災害大国と呼ばれる理由～
2. 砂防とは
～砂防堰堤の働き～
3. 常願寺川の特徴
～急流河川と立山カルデラ～
4. 砂防事業の開始
～安政5年→県営→国直轄砂防～
5. 直轄砂防の取り組み
～後世に残る取り組み～



富山地区センター
杉本副所長

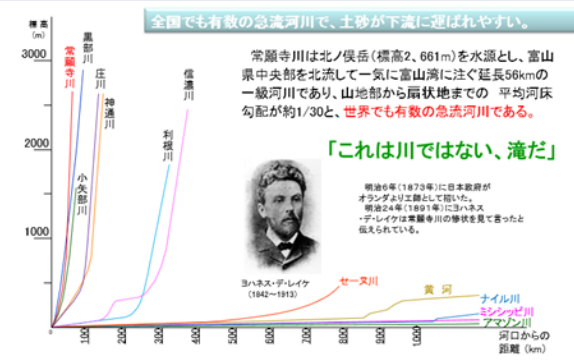


立山砂防事務所
村元調査課長

オンライン配信を含め約30名が受講！



常願寺川の特徴 ●世界有数の急流河川



砂防の語源

土砂災害を防止し、人命や財産を守ること

語源→明治4年に明治政府が民部省通達で使用した「土砂溢漏防止」に由来するというのが定説

■土砂災害の大きな分類

